

## 遠洋水産研究所における組織改編

太平洋クロマグロ資源の維持と安定供給に不可欠の資源評価と管理を中心とした我が国周辺海域における太平洋クロマグロの総合的な研究に重点的に取り組むとともに、中西部太平洋のカツオ資源状況の把握と近年の我が国周辺におけるカツオの不漁原因の解明に関する研究課題を推進するため、平成22年4月1日付けで、次の見直しを行います。

- ・温帯性まぐろ資源部を「くろまぐろ資源部」に、熱帯性まぐろ資源部を「かつお・まぐろ資源部」に、それぞれ改組します。

- ・「くろまぐろ資源部」には「太平洋くろまぐろ資源研究室」、「太平洋くろまぐろ生物研究室」、「温帯性まぐろ研究室」を配置します。

- ・これまで太平洋クロマグロの漁獲統計の収集および資源評価、北太平洋ビンナガ、大西洋クロマグロなどの資源評価に対応してきた「数理解析研究室」を改組し、太平洋クロマグロに関連した漁獲統計の収集、資源評価および管理に専従する「太平洋くろまぐろ資源研究室」とします。

- ・温帯性まぐろ資源部の「生物特性研究室」を「太平洋くろまぐろ生物研究室」に改称し、太平洋クロマグロ資源評価に必要な生物パラメータの精度向上に関する研究の推進に特化します。

- ・以上2つの研究室を太平洋クロマグロに関する研究に特化することにより、資源評価及び管理・漁業データ・生物データに至る総合的な太平洋クロマグロ資源研究の実施体制を整備します。

- ・従来の温帯性まぐろ資源部に所属していた「かつお・びんなが研究室」を「熱帯性まぐろ研究室」と同じ「かつお・まぐろ資源部」に配置して、日本周辺の温帯海域とカツオ資源の分布の中心である熱帯海域を包括的に研究する体制を整備します。

- ・これらに伴い、その他のまぐろ類に関する研究、すなわち温帯性まぐろ類（大西洋クロマグロ及びミナミマグロ）、熱帯性まぐろ類（メバチ及びキハダ）、及びかじき類などのまぐろ類似種及び関連生物等に関する研究は、くろまぐろ資源部の温帯性まぐろ研究室、かつお・まぐろ資源部の熱帯性まぐろ研究室及び混獲生物研究室が分担して行います。